秋田魁新報　2023年10月29日付　県北

秋田県立小坂高等学校 統合記念式典・記念講演

最後の生徒会長として生徒代表の言葉を述べる湯瀬さん

小坂高、108年の歩み胸に

「花輪」「十和田」と来春統合

在校生ら230人、記念式典

統合により本年度末で閉校する小坂町の小坂高校（佐藤貴文校長、56人）で28日、統合記念式典が開かれ、在校生や教職員ら約230人が108年の歩みを振り返った。小坂高は来春、花輪高、十和田高と統合し、花輪高校舎で「鹿角高校」として新たなスタートを切る。

佐藤校長は式辞で部活動や地域活動の成果などに触れながら、「校訓『和親』の中にある人を思いやる気持ちを忘れず、自信と勇気を持って前進することを期待する。同窓生には、鹿角高校で新しい歴史を刻む姿を温かく見守ってほしい」と述べた。

生徒会長の湯瀬瑛理香さん（3年）は「思いやりの精神が小坂高校で育まれ、地域に根付いている。私たちが一端を担っていると思うと誇らしくなる。ここで学んだことが一人一人の心の中で生きていくことを願っている」と生徒代表の言葉を述べた。

元校長や元PTA会長ら功労者7人を表彰したほか、式典後は卒業生で国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構の角舘聡さんが記念講演を行った。

小坂高は1916年、小坂実科高等女学校として設立された。39年に小坂高等女学校、48年に県立小坂高校に改称。2001年、現在の普通科と環境技術科（現1、2年生は産業工学科）の2科制になった。これまでの卒業生は1万1579人。

（高橋秀明）

©秋田魁新報社